

地域の支え合い通信

～であい♥つながりあい♥支えあい～



「見守り活動」について話し合いました！

コロナ禍で地域活動が制限されたり、外出や交流する機会が減り、志免町内でも孤立の状態に陥る人が増えていると考えられます。

令和3年10月14日（木）に開催した地域ケア推進会議（協議体）では、住民団体や介護保険事業所の方に見守り活動の現状を伺い、コロナ禍での見守り活動の進め方等について話し合いました。



コロナ禍で感じること・気づき

- ・気持ちが落ち込んでいる人、話し相手がほしいという人が増えたと感じる。
- ・体力の低下や転倒リスクの増加など、コロナフレイルの進行の恐れがある。
- ・在宅介護者の負担が増えているのではないかな。

コロナ禍での見守り活動の進め方

声だけの交流でも嬉しいが、顔が見られるともっと嬉しいと思う。



①対面での見守り活動を工夫する

- ・屋外や玄関先で声をかけるなど、接触を避け、訪問時間を短くする。
- ・訪問ができない時には、電話で安否確認を行う。

②オンラインを活用する

- ・テレビ電話やLINEで交流を図る。

オンラインの活用に向け、志免町シニアクラブ連合会ではスマホ学習会を実施されています。3月9日（水）には健寿会（田富町内会シニアクラブ）で学習会が行われました。



ソフトバンク㈱の職員さんが講師を担当され、スマートフォンの基本的な使い方を学びました。



体験中分からないことがあれば、個別に対応してくださいました。講座後のサポートは各店舗で行う形になるそうです。



参加者同士で教え合っている様子もみられました。今後は会員間でサポートしあえる環境づくりに取り組む予定とのことです。

令和3年度後期 活動報告

令和3年10月～令和4年3月

生活支援コーディネーターが関わった地域での支え合い活動などを一部ご紹介します。



「町内会活動への参加・支援」

桜丘南町内会事業見直し検討委員会

桜丘南町内会では役員の担い手不足解消や行事の見直し等を行うため、まちづくり支援室と協力して事業見直し検討委員会を実施されています。

令和4年度は、福祉分野において、有志による居場所活動の実施や組長・副組長による見守り活動の強化、活動者への勉強会等が検討されています。

既存の活動を根本から見直すのは非常に勇気と労力があることだと思いますが、住民のニーズや地域の状況に合わせて変化していくことは大切な取り組みの一つだと考えられます。



石橋台町内会 見守りネットワーク勉強会

石橋台町内会では、「見守りネットワーク活動」の取り組みとして、声かけ、訪問活動、マップ作り、対象者の把握等が行われています。

2月25日（金）には町内会役員、組長、活動に関心のある方を対象とした「高齢化の現状を学ぶ勉強会」が開催され、人口や高齢化率の推移、近所づきあいの大切さ、地域の人が持っている力を活かすための方法等について学習されています。

継続して学びの場を設けることで、多くの方々に理解が広がり、徐々につなぐの輪が広がっていくと考えられます。



参加者の感想

- 近くに相談できたり、お願いができるような町内になることが理想であると思います。まずは外に出て、まわりに関心を持ちたいと思いました。
- ネットワークが石橋台で広がり、皆がお互い様の気持ちで助け合いの輪が出来ますよう、願って、協力していきたいと思います。



以上の取り組みを通して、見守りネットワーク活動のポイントなどをまとめたチラシを作成しました。ご入用の町内会は社会福祉協議会までご相談ください。



「ふくしのまちづくりプロジェクト」

町内会単位で実態調査を行うことで地域の現状を知り、その結果から今後地域でできる支え合い活動や、他分野の活動者、企業などと協働して解決策を考えるプロジェクトです。地域での支え合い活動が軌道にのるまでの側面的支援も行っています。

桜丘一町内会 ふくしのまちづくりプロジェクト説明会

11月6日（土）、桜丘一町内会にて「ふくしのまちづくりプロジェクト」の説明会を行いました。

説明後、町内会の状況を伺うと「新興住宅地であり元々住んでいた地域が違うため、つながりの難しさを感じる」「住民同士の交流の機会も減ってきている」などの意見が出されていました。

また、新しく住み始める若い世代の方も増えてきているとのことで、桜丘一町内会をより住みよい地域にしていくためにも、多世代の方々のニーズを把握していくことが必要ではといったお話もありました。

今後はニーズ調査の内容や範囲等について話し合いをしていく予定です。



王子八幡町内会 「王子サポート隊」

王子サポート隊は、王子八幡町内会にお住まいの方の日々の見守り活動とちょっとした生活上の困りごとに対応していくグループです。

令和3年5月から活動を始めましたが、依頼される方が少ないといった課題があったため、10月5日（火）にサポート隊会議を開き、気軽に利用していただける方法について検討されています。

会議後、事務局メンバーが対象者宅を全て訪問し再度案内した結果、依頼が増えたそうです。よりよい活動を続けていくためには、定期的な振り返りや見直しが必要だと感じました。



成和町内会「成和支え愛クラブ」モデル活動

成和町内会では、日常のちょっとしたお手伝いや居場所活動を行う「成和支え愛クラブ」の立ち上げに向けて、ボランティア募集及び説明会を行う予定でしたが、コロナ禍のため活動を延期しています。

そのような中「ごみ出しに困っている」と住民の方から相談があり、2月24日（木）事務局メンバーと今後の対応について話し合いました。

今回は事務局メンバーと、組合で協力してくださる方でチームをつくり、モデル活動として個別対応中です。この活動を通して、今後依頼があった時にも対応できるよう生活支援のしくみづくりを行う予定にしています。





居場所活動の見学

コロナ禍で公的な機関や事業所が行う活動が一部中止となっていますが、三密を避けながら、自主的に健康づくりや介護予防に取り組んでいる地域もあります。



【みんなの健康体操教室】

桜丘共同利用施設を活用して、外部講師をお招きし、中国拳法体操（医師が考案した、指圧、気功、呼吸法を取り入れた体操）を行っておられます。

ボランティアで体操の講師をしてくださる人がいるとの情報が入り「介護予防にもなるので、自分たちもやってみよう」と始められたそうです。

参加者は月謝を払い、その中から施設使用料などの運営費を捻出されています。

“自分たちの健康づくりは自分たちの手で”を実践されている取り組みだと感じました。体操教室でなくても、サークル活動や習い事なども介護予防につながる取り組みといえます。志免町では公民館や町の公共施設などでさまざまな活動が行われています。皆さんもぜひ参加してみませんか？



With コロナにおける地域福祉活動 つながり通信の発行

新型コロナウイルス感染症の影響により3密（密集、密接、密閉）を避けるなど、新しい生活様式にあわせた福祉活動として、「つながり通信」を活用した見守り活動を町内会にご提案しています。

第5号～第10号は19町内会で活用いただき延べ7,587名の方に配布していただきました。

令和4年度も2か月に1回の頻度で発行する予定としています。



つながり通信には、町内の医療・介護専門職やボランティアにご協力いただき、自宅のできる体操や脳トレなどを掲載しています。

生活支援コーディネーターのご紹介



生活支援コーディネーターは「地域支え合い推進員」とも呼ばれ、地域での支え合い活動を広める役割を担っています。

介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で自分らしくいきいきと暮らしていけるよう、住民の皆さんや事業所、各種団体などと協働しながら、地域における支え合いの体制づくりを進めていきます。

志免町では町からの委託を受け、志免町社会福祉協議会が担っています。

【お問い合わせ先】 志免町社会福祉協議会 TEL：092-937-3011